

# ITツールを活用した 業務改善

## DX

コース番号：056-052

2025年

開催日時：1月29日(水)

募集締切：1月22日(水)

9:30~16:30 (6時間)

開催場所：ポリテクセンター山梨

定員：16名程度 (先着順)

推奨者：中堅層

**受講料**  
**3,300円 (税込)**

### コースの狙い

業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得します。

### 主な訓練内容

#### ◎ ITツールの種類と活用

##### (1) スマートフォンから始めるIT入門

- ① スマートフォンを軸にして、あらゆるデバイスがスマートデバイスになり得ることの説明。
- ② DX (デジタル・トランスフォーメーション) によって実現する世界観を踏まえたITツールの導入プロセスについての解説。

##### (2) DXを構成する中核技術

- ・DXの中核技術となるクラウド、IoT、AIについて解説。

##### (3) 事例から学ぶ業務改善

- ① クラウドサービスを導入した企業の事例紹介とプログラミング不要でアプリケーションの開発ができるノーコード開発ツールについて解説。
- ② 社内にプログラマーがいなくても自社アプリケーションの開発が可能であることの紹介。

#### ◎ ITツールの業務適用

##### (1) 業務分析手法としてのビジネスプロセスモデル

- ① ビジネスプロセスモデルとは
- ② ビジネスモデル表現するためのフレームワーク
- ③ IT導入を企画する

##### (2) IT導入プロセス

IT導入に向けた計画を立案する上で必要となる業務分析の基本を習得。  
ビジネスプロセスモデル (BPM) の基本を踏まえた上で業務フロー分析と構築手法についての解説。

##### (3) ビジネスプロセス構築演習

業務分析からIT導入計画までの流れについて、ケーススタディ演習を通じて習得。

#### ○ 訓練内容のココがポイント!

- ・IT活用を推進する際に、「話している言葉の意味がわからない」と言われることがあります。本講座では、よく使われるIT用語の意味を十分に理解してから、説明を進めていきます。
- ・IT投資をムダにしないためには業務分析・業務設計のプロセスが必要になります。講師自身によるコンサルティング事例をもとに、どのようにしてITツールを業務改善につなげていったのかのプロセスについて、演習を通じて習得します。

### 実施機関 & 講師

株式会社

日本能率協会

コンサルティング

オトガル株式会社 代表取締役

大橋 信太郎氏



### 講師Profile

中小企業診断士。

精密機器メーカーを経て、2015年に独立。

商工会議所などの公的機関の専門家として、製造業や建設業、サービス業などに対するIT導入支援のほか、AI・IoTを活用した経営革新や業務改善などのセミナーに登壇している。

お申し込みは